

大伴小だより



3月号

富田林市立大伴小学校 校長 岩片 啓子

富田林市南大伴町一丁目2番20号

0721-24-3104



春ですが…「あ・き・こ」のあいさつ

うちの学校の子どもたち、教室や集会で、全員であいさつをするのは得意なようで、とても大きな声で「おはよーございますっ！」と言えるのです。でも、朝の門や、廊下で、一人であいさつしようと、目も合わさずに蚊の鳴くような小さな声でしか返せない子どもがたくさんいます。

昔々の体育会系の部活動では、絶対に後輩から、先輩や顧問に向かって「おはようございませう！」「こんにちはー！」「さよならー！」と言っていたものですが、これもコロナ禍以降、なくなっているのでしょうか。

先週、朝会委員会が“あいさつ運動”をしていてくれました。3つの門で3～4人ずつ立ち、あいさつをしてくれます。私と一緒に立ってくれた子たちにこんなことを伝えました。

「**あ**いさつは **き**こえる声で **こ**っちからね！」と。

あいさつは、人と人をつなぐ、一番身近で、一番簡単な思いやりです。あなたがここにいてくれるよ、気をつけてね、がんばってね、のことばのプレゼントです。

せっかく人にプレゼントするのに、声が小さくて届かなかったり、マスクの下で唇だけ動かして気付いてもらえないようではもったいないっ！ 顔をあげて、相手を見て、はっきりと聞こえる声であいさつをしてほしいのです。

そして、あいさつは、相手がしてくれるのを待つのではなく、自分から先にすることで大きな力を持ちます。「おはようございませう！」と勇気を出して、自分から声を届ける子どもがひとり、またひとりと増えるたびに、学校の空気はどんどん温かくなります。

廊下や教室で子どもたちの元気な「あ・き・こ」のあいさつが飛び交うと、学校全体が明るくなった気がします。よその学校を訪問した時にも、子どもたちから「あ・き・こ」のあいさつがあるだけで、いい学校だなあ！と一瞬でよい印象を持つものです。

ご家庭でもぜひ「今日は“こっちから”あいさつできた？」と声をかけてあげてください。あいさつの輪がどんどん広がり、大伴の子どもの元気なあいさつが町中に響き渡ることを願っています。

一年間ありがとうございました。来年度も明るい学校づくりに努めてまいります。引き続きご理解ご協力のほど、よろしく願いいたします。

